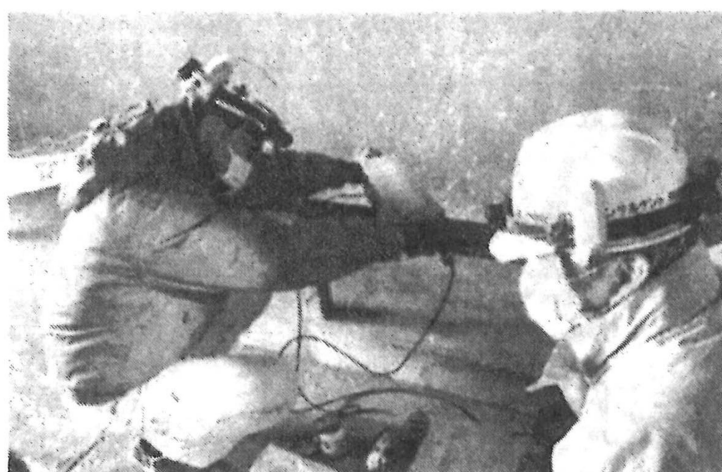


旧敦賀市庁舎・消防庁舎で実習

福井県コンクリート診断士会

会員30名が参加

福井県コンクリート診断士会(山川博樹会長)は25日、今後解体が行なわれる旧敦賀市庁舎および



消防庁舎の現場でコンクリート構造物の調査研修会を行なった。会員から約30名が参加し、診断法に関する理解を深めた。滅多に無い貴重な機会のため、解体工事を担当する道端組・安田建設JVからの声かけで実現した。冒頭、道端組の青木達也所長らが工事のスケジュール感や概要を説明

した後、測定法別に6班に分かれて実地研修へ。鉄筋探査やコアの採取、ドリル法による中性化試験などの調査を実際に行い、調査の基礎知識や流れ、特徴や注意点などを習得した。

アルカリシリカ反応を低コストで素早く確かめるためのASRゲルステイン法や、超音波を用いた劣化深さの測定法の講義では、参加者は熱心に聞き入り、質問が飛び交っていた。写真上下。その後、屋内と屋外での劣化差を確かめるための調査も行なわれた。